

第5回公開フォーラム 未来につながる 総合診療医の 育成に向けて

～地域と教育とリサーチの視点から～

平成25年度より開始されました「未来医療研究人材養成拠点形成事業」のうち、テーマBでは、各選定大学の理念や強み、特色、地域性等を活かして、地域の医療機関や市町村等と連携しながら、将来の超高齢社会における地域包括ケアシステムに対応できるリサーチマインドを持った優れた総合診療医等を養成することが目的とされました。そこで、本事業の最終年度にあたり、これまでの実績を踏まえ、未来につながる総合診療医の育成に向けて関連な議論を期待します。

日時/2017年12月16日[土] 10:00-17:00 (交流会 17:00-19:00)

会場/東北大学星陵キャンパス 星陵オーデトリウム2階 講堂

対象/ご興味のある方はどなたでもご参加いただけます。(要参加登録)

参加登録方法/下記Webサイトにアクセスし参加登録してください。

<https://secure.hosp.tohoku.ac.jp/pr/forum2017/>

参加登録期限/2017年11月30日[木] (参加費無料)

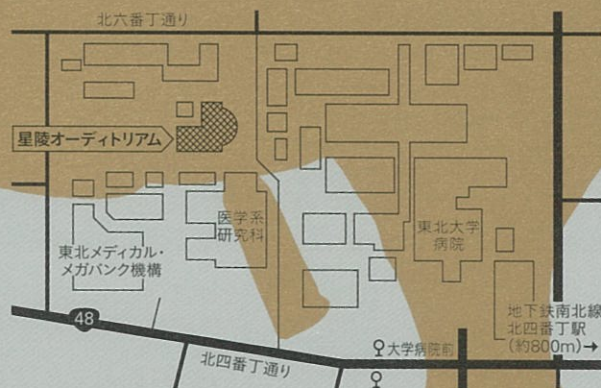
託児所あり/ご希望の方は11月10日[金]までご登録ください。



[プログラム]

- 10:00-10:05 <開会挨拶> 里見進 (東北大学総長)
10:05-10:40 <基調講演1> 文部科学省担当官
10:50-12:00 <各大学の活動報告1> 東京慈恵会医科大学、名古屋市立大学、札幌医科大学、長崎大学、九州大学、岡山大学、島根大学
13:00-13:45 <基調講演2> 吳繁夫 (東北大学東北メディカル・メガバンク機構副機構長)
13:50-15:10 <各大学の活動報告2> 大阪大学、三重大学、富山大学、新潟大学、東京大学、千葉大学、筑波大学、東北大学
15:15-16:00 <基調講演3> 鈴木康之 (岐阜大学医学教育開発研究センター教授/日本医学教育学会理事長)
16:05-16:55 <総合討論> 「未来につながる総合診療医の育成に向けて～地域と教育とリサーチの視点から～」
鈴木康之 (岐阜大学医学教育開発研究センター教授/日本医学教育学会理事長)、前野哲博 (筑波大学附属病院総合臨床教育センター部長/総合診療グループ長)、生坂政臣 (千葉大学医学部附属病院副院長/総合診療科教授)、柴木宏美 (大阪大学医学部附属病院副院長/老年・総合内科学教授)
座長: 竹村洋典 (三重大学大学院医学系研究科臨床医学系講座家庭医療学分野教授)、石井正 (東北大学病院総合地域医療教育支援部教授)
16:55-17:00 <閉会挨拶> 五十嵐和彦 (東北大学大学院医学系研究科長)
17:00-19:00 <交流会> 事前申込・会費制

※本フォーラムは「日本プライマリ・ケア連合学会の専門医・認定医の更新単位および認定薬剤師の認定単位」、「日本医師会の生涯教育認定単位」の取得申請中です。



① 駐車場のご用意はございませんので公共交通機関でお越しください。

- 仙台市営バス
JR仙台駅西口バスプール発10、13、91番のりば「大学病院経由」行き乗車「大学病院前」下車(約15分、180円)。
- 仙台市営地下鉄
地下鉄仙台駅より南北線泉中央方面行きに乗車「北四番丁駅」にて下車(約5分、200円)。北2出口より山形方面へ徒歩15分。
- タクシー
JR仙台駅西口タクシープールより「東北大学医学部・星陵地区」で到着(約10分、1,300円前後)。

コンダクター型 総合診療医 検索

主催/東北大学 後援/日本プライマリ・ケア連合学会(予定)、その他